

優勝した男子興南のメンバー=10日、鹿児島県の横川体育館（提供）



男子興南3連覇

女子3位浦添と全国へ

ハンドボールの第53回九州高校選抜大会・第48回全国高校選抜大会九州地区予選最終日は10日、鹿児島県の横川体育館などで行われた。沖縄代表の男子興南が決勝で熊本マリートを31-

ハンドボールの第53回九州高校選抜大会・第48回全国高校選抜大会九州地区予選最終日は10日、鹿児島県の横川体育館などで行われた。沖縄代表の男子興南が決勝で熊本マリートを31-

県の出場権を獲得した。

【男子】

▽決勝
興南 31
1615
1317
30
熊本マリ
スト

【女子】

▽代表決定戦

千原台 31
1318
1610
26
那覇西
(熊本)

ハイライト

前回大会と同じ顔合わせとなった男子決勝は1点差の接戦を制し、興南が3連覇を達成した。高岡晃大主将は「(連覇の)プレッシャーもあったが、優勝することができてうれしい」と喜んだ。

前半はパスミスからの逆速攻や、GKの交代の隙を突かれた無人のゴールシュートなどで連続失点からのスタートだった。守備では立体的な「3-2-1」を敷き、熊本マリートの攻撃を封じ込めようとするが、相手フロウターが打ち込む、強力なシュートに苦戦した。2点ビハインドで折り返し

後半、反撃ののろし 守備で粘り逆転

後半は、興南が本領を発揮した。横一線の守備を引く相手の堅守に、身長191cmのRB赤嶺尚太郎がロングシュートやステップシュートで立ち向かった。山下双葉は、相手守備を豪快に割ったセンターからのシュートで得点を重ねたほか、GK岡本守史が要所で好セーブを見せ、逆転に成功した。

照屋喜隆監督は「ディフェンスで粘ることが大きい」と勝因を分析する。

高岡主将は「1回戦から出だしが悪かったことに触れ、攻撃のミスをなくし、守備でもコミュニケーションをしっかりと取ることが必要」と成長を期した。

(渡真利優人)